



佐藤まさみ県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

習志野市特集

9月県議会・一般質問



本会議場で一般質問する佐藤正己県議

市議会時代からの豊富な行政経験を
生かし、県政での充実した議会活動を
続ける習志野市選出の佐藤正己(さと
う・まさみ)県議は、昨年12月定例会
に続き、9月県議会的一般質問に再び登
壇しました。今回は、大学生など新規学
卒者の就職難問題を大きく取り上げ、若
者の雇用に積極的な支援策を実施するよ
う強く迫りました。佐藤議員は「若者に雇
用の場のないような国に未来はない」とし、
県として更なる支援強化を求めました。
また、企業庁の新経営戦略プランについて
ただしたほか、幕張新都心の活性化策を訴え
ました。佐藤県議の主な質疑を特集しました。

若者の雇用に更なる支援策を！

9月から新就業体験事業開始へ

佐藤議員 大学生の就職
率が60・8%、これは社会
全体にとつて大きな問題だ
と思います。大学を卒業し
ようという若者たちが、社
会への入り口でつまずき、
その後一生浮かび上が
れないというような社
会を放つておいては、そ
のような国に未来は
ないと私は思います。
そこで伺いますが、
若者の雇用に厳しい
ことから、新卒者を
含む若年者に対し
て県として更なる
支援策を行う必要
があると思うが
どうか。

商工労働部
長 若者を取
り巻く雇用情
勢が依然と
して厳しい
ことに加え、
派遣等で
働いていた
若者は、
研修の機
会が少な

く、資格なども乏しいこと
から、正社員としての就職
が難しい状況となっていま
す。
そこで、県では今年度、
新たに実施している「新卒
未就職者等人材育成事業」
に加えて、30歳未満の若者
を対象に、研修と企業内実
習を組み合わせた「若もの
就業体験雇用促進事業」を
9月から実施し、支援の拡
充を図ることとしています。
県としてはさらに、雇用

幕張新都心の活性化

地域との連携強化で

佐藤議員 今回の東京モ
ーターショーの撤退は、幕
張メッセにとつて痛いことか
もしれませんが、単なる場
所貸しではなく、幕張なら
ではの強みを生かし、地域
と連帯した取り組みを強化
する絶好の機会であり、ひ
いては、これがメッセの利用
促進にもつながると思いま
す。モーターショーの撤退と
いう事態を乗り越え、幕張
メッセの今後の利用促進に
どう取り組んでいくのか。

森田知事 幕張メッセの
利用促進については、これ
まで以上に取り組むことが
重要だと考えています。こ
のため、宿泊や来場手段な
どでのきめ細かなサービス
を強化しつつ、コンテンツ産

機会創出のための「ふるさ
と雇用再生特別基金」や「緊
急雇用創出事業等臨時特別
基金」を活用するなど、一
層の若者の就業支援強化に
努めてまいります。
前向きな答弁をい
ただきました。国の
一時的な基金を利用してお
り、これから景気動向など
いろいろありますが、県と
してしっかりと前向き
な考えをもっていたきた
い。

私も、佐藤議員の前向き
な考え方に大賛成です。自
分を切磋琢磨して新しいお
客さんにどんどんきてもら
って活性化すれば、必ずま
た来たいということになる
と思います。また、そうし
なければならぬと思ってい
ます。

佐藤議員 幕張メッセの
利用が幕張新都心全体の活
性化につながるよう、地域
と連携した取り組みを強化
すべきと思うがどうか。

森田知事 本年度10年目

ひとの心を大切に「豊かな習志野市」

●県政や習志野市のご相談、ご意見を聞かせてください

佐藤まさみ 県議事務所
〒275-0001 習志野市東習志野3-5-1
TEL.047-475-2001

高潮対策の水門設置を要望

県、整備促進を約束

佐藤議員 東京湾奥部には、17の河川がありますが、同様の規模の河川で水門がないのは、習志野市の菊田川、谷津川、高瀬川の3河川のほかは幕張メッセの横を流れる浜田川のみとなっています。県はこの問題に対して、真剣に取り組む姿勢に欠けているのではないかと印象をめぐえません。

昨今、津波の恐ろしさが世界的に認識されている中で、水門が設置されていない河川周辺の住民の不安は、否応なしに増しているのが現状です。

そこで伺いますが、総合的な防災対策という観点から、河川管理者である県として、習志野市の3河川に水門を設置すべきと思うかどうか。

佐藤議員 河川管理は、水門設置等について協定が結ばれ、45億円が企業庁から県に支払われたと聞か、この協定は事実か。

佐藤議員 河川管理は、水門設置等について協定が結ばれ、45億円が企業庁から県に支払われたと聞か、この協定は事実か。



市内の政策課題を協議

佐藤正己県議は、習志野市を中心とした交通問題や地域活性化方策などの政策課題について、このほど、公募で2区支部長に決まった元財務省職員小林鷹之（こばやし・たかゆき）氏と、協議を行いました。話し合いの結果は、今後、県議会など県政に反映させる方針で一致しました。

小林氏は35歳。千葉県出身で東京大学法学部卒。米国ハーバード大学留学。在アメリカ日本大使館一等書記官などを歴任。



小林支部長と話し合う佐藤県議



支援者らと協議する佐藤県議

収束後3年間の清算期間設置

佐藤議員 企業庁の「新経営戦略プラン」の改訂版が8月に公表されました。それは、平成24年度までに土地造成整備事業に一定の区切りをつけるものの、25年度から3カ年を清算期間とし、その後、後継組織に引き継ぐことが基本的な構想ということです。

平成24年度収束後に設置する清算会計の設置の目的は何か。また、どのような業務を行うのか。

企業庁長 清算会計は、基盤整備及び公共施設の引継ぎが概ね完了し

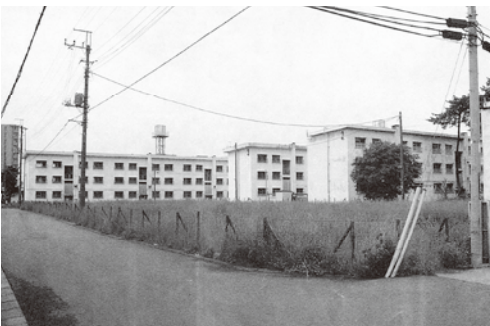
佐藤議員 幕張新都心拡

実効県住の見通し

佐藤議員 実効県営住宅について、現在空き家になっている4棟はいつ解体するのか。また、今後の見通しはどうか。

まちづくり担当部長 現在空き住宅になっている建物については、すでに県営住宅としての用途を廃止しており、早期に解体したいと考えております。

実効県営住宅の建替えについては、現在、松戸市に建設中の金ヶ作県営住宅や、今年度発注を予



空き家になっている実効県営住宅

元気な習志野
まちづくり宣言
佐藤まさみ 県議